

一 般 質 問 要 旨



十和田市現代美術館入館者数

当初見込みを大幅に上回る！

第二回定例会での市政に対する一般質問は、六月十八日、十九日の二日間行われ、九人の議員が登壇した。ふるさと納税、耐震化対策、学校図書費、鳥インフルエンザ、現代美術館、セーフコミュニティ事業、建設資材等の高騰などについて活発な議論が展開された。要旨は次のとおり

一 般 質 問 者 紹 介

岩 城 康 一 郎	竹 島 勝 昭	工 藤 正 廣	舛 甚 英 文	鳥 越 正 美	畑 山 親 弘	堰 野 展 雄	今 泉 勝 博	杉 山 道 夫
(発言順)								

注) 発言順と掲載した順序とは一致しません。



総 務 文 教

物 品 発 注 に つ い て

質問 物品及び事務事業における地元発注に対する考えを伺いたい。

答弁 物品購入等の発注については、基本的には市経済への波及もあり、市内業者を優先的に指名するようになっている。しかし、発注対象の業種によっては、市内業者数が少ない場合もあり、その場合は入札の競争性を高める必要性から、事業所として市民の雇用拡大に努めているかなどを考慮しながら、市内に支店、営業所を有している業者を指名に加えて発注している。

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の制度を利用して寄附した方々に二シク、長芋等の地場産品に十和田市現代美術館の入場券や駒街道、称徳館等のパンフレットを添えて送ることにしているのを見解を伺いたい。

答弁 ふるさと納税に係る寄附者に対して、他県では地元の特産物等の提供を検討している所もあるようだが、このふるさと納税は地方の厳しい財政事情を背景として、地方の歳入増を図るための地方税対策として導入されたことを考えれば、これらの寄附者に対して行き過ぎた物品を提供することは、いささか抵抗を感じている。

現代美術館の無料観覧券等の贈呈は、当市の観光PRにも役立つと考えられることから、今後検討してみたい。



耐震診断予定のちとせ小学校

耐 震 化 対 策 に つ い て

質問 学校施設の今後の耐震化対策について、具体的にどのような計画で取り組むのか伺いたい。

また、教育施設以外の市の施設での耐震化対策はどのようになっているのか伺いたい。

答弁 平成十八年度に学校施設がどの程度地震に耐えられるかの調査の優先度を検討することを目的に、耐震化優先度調査を行った。翌

十九年度では、その優先度調査をもとに学校施設耐震化整備計画を策定し、法興小学校、十和田湖小学校及び三本木中学校の耐震診断を実施した。今年度においては、これらの三つの学校の耐震診断の結果により、耐震補強設計を実施する予定であり、あわせてちとせ小学校、甲東中学校の耐震診断も行う予定である。今後の計画については、二十一年度には四つの学校、二十二年度にはさらに四つの学校の耐震診断を予定している。これらの結果を踏まえて、順次補強設計及び補強工事等を実施していきたい。

燃 料 高 騰 に つ い て

質問 燃料高騰による財政への影響について、現状と今後の対策を伺いたい。

答弁 原油高騰の影響を受け、ガソリンのみならず、灯油、重油等が高騰している。平成二十年度一般会計予算における燃料費を現時点でのガソリン等の販売価格により試算すると、影響額は二千八百万円の増となる。今後灯油を初めとする燃料需要が多くなる冬期間の教育施設等への暖房や除雪経費への影響を与えることがないように、徹底した経費節減と可能な限りの歳入の確保に努めて、影響を少なくしたいと考えている。

